

- 進んで関わり、共に高め合う子
- 自ら学ぶ子
- 思いやる子
- たくましい子



目指す子どもの姿

- ◆自分・友だちの良さや課題を理解し、協力し合う子
- ◆学校が楽しいと思う子
- ◆すすんで挨拶・ありがとう・優しい言葉がけ・素直にごめんなさいと言える子
- ◆いやなことや困ったことがあったときは、一人で考えすぎないで先生や家族や友達に相談する子
- ◆インターネットを正しく活用する子
- ◆いじめを認めない子

目指す教職員・組織の姿

- ◆児童との温かみのあるコミュニケーションを大切にし、困り感・達成感にも寄り添いながら、丁寧な児童理解を行う。
- ◆不登校・不登校傾向の児童の情報を共有し、早期対応・継続的な対応を他機関と連携して組織的に行なう。
- ◆自分の責任と相手を尊重することの重要性をもとに、正しく使う・正しく怖がる情報モラル教育を進める。
- ◆いじめの早期発見・早期対応を他機関と連携して組織的に行なう。

目指す家庭・地域の姿

- ◆子供達の良いところや課題を伝え、話し合い、成長の様子を確かめ合う。
- ◆子供達にすすんで挨拶したり、ありがとうの気持ちを伝えたり、優しい言葉がけを心掛ける。
- ◆インターネットを活用する時は、その利用の様子・時間について把握し、間違った使い方の時は話し合う。
- ◆いじめのことについて、家族で話し合い、必要な情報共有を学校と行う。

目指す家庭・地域の姿

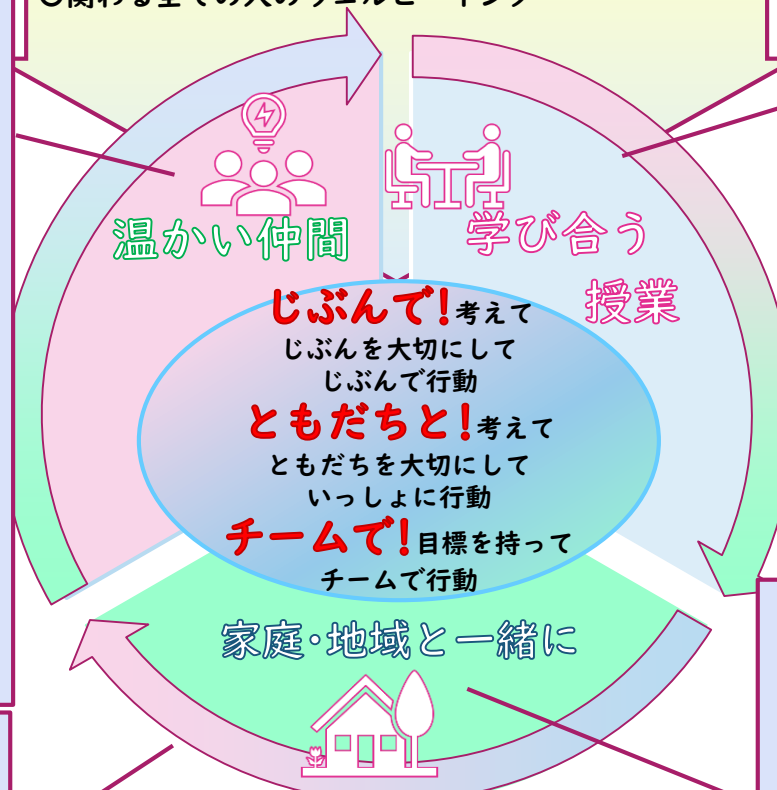
- ◆家庭学習計画・家庭学習の様子を学習を確認したり、学校での授業や生活話を話題にしたりして励ます。
- ◆家庭での学習や読書に落ち着いて取り組むための生活習慣や環境を整える。
- ◆スクリーンタイムについて話し合い、約束を決めて、守られているかを一緒に振り返る。
- ◆教育活動へ参画し、子供達の実態と目指す姿を共有する。

～R7重点目標～

ひとみキラキラな学校をつくらう

目指す学校の姿

- 子どもが主語の授業・教育活動（令和の日本型教育）
- 関わる全ての人のウェルビーイング



「夢と自信と地域への
思いを育む学校」

目指す子どもの姿

- ◆難しい問題でも、あきらめずに取り組む子
- ◆よく考えながら聞き、自分の考えを整理して伝える子
- ◆みんなで話しあって課題を解決する子
- ◆学習で、正しくタブレットを活用して自分の考えを広げたり深めたりする子
- ◆テストに一生懸命に取り組む子
- ◆自分の課題に向き合って体力の向上を目指す子

目指す教職員・組織の姿

- ◆小樽 授業づくりの5つのステップをもとに、児童と授業展開を共有する。
- ◆クラウドを活用した児童が主語の授業・教育活動を創造する。
- ◆今日的な課題をとらえ、学力向上検討委員会の示す授業の工夫改善を進める。
- ◆課題を明確にした体力の向上を位置付けた授業を継続して行う。

目指す家庭・地域の姿

- ◆テストを確認して、ほめたり、励ましたりする。
- ◆学習でタブレットを使っている様子を見守り、その成果や課題について話し合う。
- ◆家庭生活において、運動に触れ合う機会をつくる。

目指す子どもの姿

- ◆家庭学習計画を立て、毎日、家庭学習（宿題・自主学習・読書・音読・AIドリル）に取り組む子
- ◆早寝早起き朝ご飯ができる子
- ◆スクリーンタイムの約束を家族と話し合って決めて時間を守っている子

目指す教職員・組織の姿

- ◆学校での学習や生活の様子・家庭学習計画・家庭学習の内容・方法・取組の様子について情報を発信し、共有する。
- ◆スクリーンタイム振り返り週間・生活リズムチェックシートを活用した指導を行う。